



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2012.3月号

平成23年度 春期特別展

平塚と相模の城館

平成24年3月17日(土)

～5月6日(日)



ロマン溢れる奈良の都、雅な平安貴族、煌びやかな源平の武者、波乱万丈の戦国時代と、人気の高い時代の狭間で忘れられがちな「中世」を紹介するにあたり、今回は「城」をテーマに組み立ててみました。

このほど確認された鎌倉時代の鎧(あぶみ)や、明らかになってきた真田城の姿をはじめとして、これまでに平塚市内で出土した中世の考古資料を多く公開します。

関連行事

I 平塚の遺跡を歩く	事前申込
「岡崎城と真田城」	3月24日(土)
「墨染館と田村館」	4月22日(日)
II 講演会 各回とも 午後2時～3時30分	講堂・自由参加
「真田城の発掘調査」	3月25日(日)
「中世の資料と真田城の土器」	4月15日(日)
III 連続講座「平塚合戦絵巻」 各回とも 午後2時～3時30分	講堂・自由参加
1「打倒平家 相模武士の決断」	4月7日(土)
2「関東公方の野望 足利持氏と成氏」	4月14日(土)
3「動乱の世紀 扇谷上杉氏と三浦氏」	4月21日(土)
4「平塚の戦国 伊勢宗瑞と小田原北条氏の戦略」	4月28日(土)
IV 展示解説 各日とも 午前10時と午後3時	特展室・自由参加
3月18日(日) 5月3日(木・祝) 5月5日(土・祝)	

PANDORA 初の南半球へ

プラネタリウム番組

アクアマリン的星空の旅



パタゴニアで氷河の前に立つアクアマリン

投影日 4月8日までの土、日曜日
3月28(水)、29日(木)、4月4日(水)
午前11時 午後2時

観覧料：200円(18歳未満と65歳以上無料)
定員：各回70名

アクアマリンは、星空を歌うアーティストとして、天文ファンにはおなじみの二人です。代表作「COSMOS」は学校合唱曲の定番にもなりました。作詞作曲担当のミマス氏には、学生時代から当館のプラネタリウム番組の音楽をずっと制作していただきました。気取らず、誇ることもなく、いつもわかりやすい言葉で宇宙を歌う姿勢が、多くの人々の共感を呼んでいます。

今回のプラネタリウムは、平塚では見られない南半球パタゴニアの星空(新投影機 PANDORA になって初の映写です)や、1970年代から宇宙を旅し続けるボイジャー探査機の画像などを、解説の代わりにアクアマリンのCD収録曲とともにご覧いただきます。

挿入される二人のコメントは、あなたが見上げる星空にも、きっと何かをプラスしてくれるにちがいありません。

雑貨団 シアトリカル・プラネタリウム Vol.25



<あらすじ>

イマドキ女性、菜々は、とある山の中で2人の兄弟を偶然救出する。

この兄弟、実は「かぐや姫」の伝説のお宝を探しているという。

なんかかんやですっかり巻き込まれる菜々と、

どんどん出てくるヘンな人たち。

不吉を告げる竹の花が咲く山の中、かぐや姫千年の謎がついに解き明かされる……のか!?

おとぎ話、UFO、宇宙人、そしてプラネタリウム! 雑貨団お得意のドタバタ&なんかユルいファンタジー。

科学と歴史の未確認(Unidentified)の正体、確認するのはアナタ……!

<公演概要>

雑貨団 シアトリカルプラネタリウム Vol.25 **U(ユー!)** ~君の信じてる未確認~

○日時：2012年3月30日(金) ①14時30分～ ②18時30分～

○申込：3月7日(水) 午前9時より電話にて受付、先着順

○料金：200円(18歳未満および65歳以上は無料) ○定員：60人

※シアトリカル・プラネタリウムは、演劇を中心とした作品です。通常のプラネタリウム投影とは異なります。



寄贈品コーナー 日食・月食・星食

期間：2012年3月1日～3月25日

12月～1月のプラネタリウム番組でもご紹介したように。今年2012年は珍しい天文現象が目白押し。中でも金環「日食」(5月21日)、部分「月食」(6月4日)、金星「食」(8月14日)と、「食」とつく天文現象が多いのが特徴です。そういえば、昨年12月にも皆既月食がありましたね。「食」とは、とある天体が見かけ上、手前にある天体に隠されていく天文現象のこと。そういう意味では、6月6日に見られる金星の太陽面通過も広い意味で「食」と言えるかもしれません。

今回の寄贈品コーナーでは、今年見られる現象を中心に、「食」現象についてその原理と見どころについてご紹介します。



↑昨年2011年12月10日に見られた皆既月食。

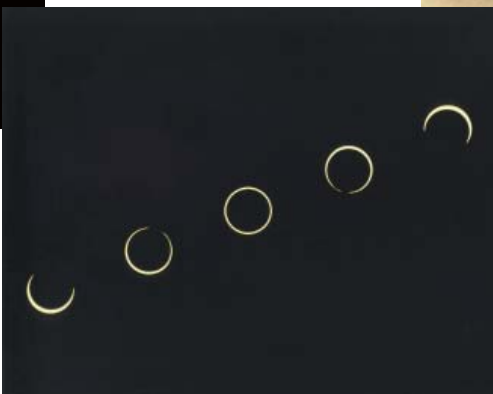
今年も6月4日、月が欠けたまま昇ってくる部分月食が見られます。

1987年9月23日に沖縄で見られた金環日食。今年5月21日、同じような金環日食が平塚で見られます。↓



↑2002年3月20日に見られた土星食。

今年8月14日早朝には、金星が月に隠される金星食が見られます。



第4回ひらつか囃子太鼓フェスティバル

市内外から9つの囃子・太鼓の団体が集まり、中央公民館の舞台上で祭りばやしを演奏します。今回初出演の小田原囃子多古保存会は、祭りばやしとしては唯一の県指定文化財です。祭りばやしは地域ごとに特色があり、平塚周辺の囃子太鼓、藤沢・鎌倉方面の囃子と関連のある田村ばやしや二宮中町の鎌倉ばやし、それに県西部の小田原囃子と、それぞれ系統の異なる祭りばやしを聞き比べることができます。ぜひ、ご観賞ください。なお、舞台発表後、午後4時30分頃から中央公民館隣の浅間緑地にて太鼓の競り合い(自由演奏)を予定しています。

期 日：3月17日(土)

時 間：午後1時～4時(12時30分開場)

会 場：平塚市中央公民館大ホール

入 場：無料

出 演：小田原囃子多古保存会(小田原市多古)・諏訪神社鼓南会(平塚市南原)・博物館太鼓連(平塚市博物館)・二十四軒町若宮囃子保存会(平塚市平塚)・本宿雅組(平塚市豊田本郷)・中町囃子保存会(二宮町二宮)・田村ばやし保存会(平塚市田村)・八幡囃子太鼓保存会(平塚市東八幡)・長者町囃子保存会(大磯町大磯)

主 催：第4回ひらつか囃子太鼓フェスティバル実行委員会・平塚市博物館



第3回フェスティバルより二宮町中町囃子保存会の舞台発表

3月

1	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室
2	金	古文書講読会	講堂
3	土	◎星を見る会「水星・金星・火星・木星」	科学教室・屋上
4	日	お囃子研究会	講堂
5	月	平塚の古代を学ぶ会	講堂
6	火	水辺の楽校生きもの調べの会	野外
7	水	休館日	
8	木	平塚地質調査会	工作室
9	金	石仏を調べる会	特別研究室
10	土	古文書講読会	講堂
11	日	古代生活実験室	科学教室
12	月	相模川の生い立ちを探る会	猿島
13	火	星まつりを調べる会「まとめ」	特別研究室
14	水	休館日	
15	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室
16	金	古文書講読会	講堂
17	土	天体観察会	科学教室・屋上
18	日	◎「まとめ、春の星座と惑星の観察」	中央公民館
19	月	◎第4回ひらつか囃子太鼓フェスティバル	相模の家
20	火	◎ろばたばなし	相模の家
21	水	休館日	
22	木	祝日開館	
23	金	裏打ちの会	科学教室
24	土	民俗探訪会	特別研究室
25	日	石仏を調べる会	特別研究室
26	月	古文書講読会	講堂
27	火	◎平塚の遺跡を歩く「真田城」	市内
28	水	休館日	
29	木	◎雑貨団プラネタリアム公演「u(ユー)」	プラネタリアム
30	金	地域史研究ゼミ	特別研究室
31	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室

寄贈品コーナー「日食・月食・星食」
3月1日～3月25日
「新着資料展」
3月17日～5月6日
春期特別展「平塚と相模の城館」
2月4日～4月8日

4月

2	月	休館日	
3	火	平塚地質調査会	工作室
4	水	展示解説ボランティアの会	特別研究室
5	木	古文書講読会	講堂
6	金	◎星を見る会「月・金星・火星・春の星」	科学教室・屋上
7	土	◎連続講座『平塚合戦絵巻』	講堂
8	日	「打倒平家 相模武士の決断」	講堂
9	月	休館日	
10	火	相模川の生い立ちを探る会	野外
11	水	休館日	
12	木	石仏を調べる会	特別研究室
13	金	古文書講読会	講堂
14	土	お囃子研究会	講堂
15	日	◎連続講座『平塚合戦絵巻』	講堂
16	月	「関東公方の野望 足利持氏と成氏」	講堂
17	火	◎プチ砥石を作ろう	科学教室
18	水	◎講演会「中世の資料と真田城の土器」	講堂
19	木	休館日	
20	金	裏打ちの会	科学教室
21	土	民俗探訪会	特別研究室
22	日	展示解説ボランティアの会	特別研究室
23	月	古文書講読会	講堂
24	火	地域史研究ゼミ	特別研究室
25	水	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室
26	木	星まつりを調べる会	科学教室
27	金	◎連続講座『平塚合戦絵巻』	講堂
28	土	「動乱の世紀 扇谷上杉氏と三浦氏」	講堂
29	日	◎ろばたばなし	相模の家
30	月	◎ピンホール日食観察筒を作ろう	講堂
31	火	◎平塚の遺跡を歩く「墨染館と田村館」	野外
32	水	休館日	
33	木	石仏を調べる会	特別研究室
34	金	古文書講読会	講堂
35	土	天体観察会	科学教室・屋上
36	日	◎連続講座『平塚合戦絵巻』	講堂
37	月	「平塚の戦国 伊勢宗瑞と小田原北条氏の戦略」	講堂
38	火	◎ピンホール日食観察筒を作ろう	講堂
39	水	休館日	
40	木	祝日開館	

春期特別展「平塚と相模の城館」
2月4日～4月8日

寄贈品コーナー「新着資料展」
4月30日まで
企画展「花水川源流からのメッセージ」南から来た丹沢の岩石・化石展」5月6日まで
春期特別展「平塚と相模の城館」5月6日まで
プラネタリアム「ゴッホが描いた星空」4月14日～6月3日

展示・プラネタリアムと行事

- <特別展と関連行事>
☆春期特別展「平塚と相模の城館」
※本紙1頁参照
- <寄贈品コーナー>
☆寄贈品コーナー「日食・月食・星食」
※本誌3頁参照
- <プラネタリアム>
☆プラネタリアム番組「アクアマリン的星空の旅」
※本紙2頁参照
- <申込制の行事>
○平塚の遺跡を歩く「岡崎城と真田城」
内容：平塚の名城岡崎城と真田城を散策します。
日時：3月24日（土）午前10時～午後3時
場所：岡崎～真田地区
定員：25人
申込：往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、3月15日（木）までに申し込む。
- 雑貨団プラネタリアム公演「u(ユー)」
※本紙2頁参照

☆：展示・プラネタリアム ○：申込制行事 ◎：参加自由 無印：年間会員制

- <自由参加の行事>
◎星を見る会「水星・金星・火星・木星」
内容：めったに見ることのできない水星をはじめ、四つの惑星たちを一気にご覧いただきます。
日時：3月2日（金）午後6時～午後8時
場所：博物館科学教室・屋上
参加：自由
- ◎ろばたばなし
内容：民家のいろいろばたで昔話を語ります。
日時：3月18日（日）(1)午後1時20分、(2)午後3時
場所：展示室1階「相模の家」
参加：自由
- ◎第4回ひらつか囃子太鼓フェスティバル
※本紙3頁参照

3月の休館日：5日、12日、19日、26日